

対象：2024年以降、水田活用の直接支払交付金を活用しながら、交付対象水田において、飼料用米、WCS用稲、飼料作物を作付けした生産者

【基本情報】

Q1 経営されている農場が所在する都道府県を選択してください(いくつでも)。

※複数の農場を経営されている場合（農場が県境等にまたがる場合を含む）は、農場が所在する全ての都道府県を選択してください。

※北海道は以下の地域に合わせて選択してください。

道央（空知地域／石狩地域／後志地域／胆振地域／日高地域）

道南（渡島地域／檜山地域）

道北（上川地域／留萌地域／宗谷地域）

道東（オホーツク地域／十勝地域／釧路地域／根室地域）

- ☐ 北海道(道央)
- ☐ 北海道(道南)
- ☐ 北海道(道北)
- ☐ 北海道(道東)
- ☐ 青森県
- ☐ 岩手県
- ☐ 宮城県
- ☐ 秋田県
- ☐ 山形県
- ☐ 福島県
- ☐ 茨城県
- ☐ 栃木県
- ☐ 群馬県
- ☐ 埼玉県
- ☐ 千葉県
- ☐ 東京都
- ☐ 神奈川県
- ☐ 新潟県
- ☐ 富山県
- ☐ 石川県
- ☐ 福井県
- ☐ 山梨県
- ☐ 長野県
- ☐ 岐阜県
- ☐ 静岡県
- ☐ 愛知県
- ☐ 三重県
- ☐ 滋賀県
- ☐ 京都府
- ☐ 大阪府
- ☐ 兵庫県
- ☐ 奈良県
- ☐ 和歌山県
- ☐ 鳥取県
- ☐ 島根県
- ☐ 岡山県
- ☐ 広島県
- ☐ 山口県
- ☐ 徳島県
- ☐ 香川県
- ☐ 愛媛県
- ☐ 高知県
- ☐ 福岡県
- ☐ 佐賀県
- ☐ 長崎県
- ☐ 熊本県
- ☐ 大分県
- ☐ 宮崎県
- ☐ 鹿児島県
- ☐ 沖縄県

※Q1で北海道～神奈川を選択した場合はQ2へ 新潟～沖縄を選択した場合はQ3へ進む

Q2,3 協議会名を記入してください。（Web画面は選択式。）

再生協議会名 【

Q4 交付申請者の郵便番号をご記入ください。

-

Q5 農業経営のタイプについて、選択してください。

	該当する 経営体制
① 家族経営（専業）	☐
② 家族経営（兼業）	☐
③ 法人経営	☐
④ 集落営農	☐
⑤ その他【具体的に記載】	☐ 【

Q6 経営されている（販売収入を得ている）品目について選択してください（ひとつだけ）。

※「耕種」は稲作、畑作、果樹栽培などの食用作物の生産を指します。「畜産」は家畜の飼養と畜産物の生産等を指します。

	該当する 経営品目
① 耕種のみ	☐
② 畜産のみ（自らの畜産経営に供する目的で、飼料作物等を生産している場合）	☐
③ 耕種と畜産両方	☐
④ その他 【具体的に記載】	☐ 【

Q7 以下の作物のうち、交付対象水田において令和6年以降に作付のあるもの（今後令和7年中に作付を予定しているものを含む）をご回答ください（いくつでも）。

Q8 各作物のうち、交付対象水田において作付けされている作物の作付面積について、

令和6年産（令和6年に播種し、令和7年春までに収穫した分を含む）と令和7年産（令和7年に播種し、令和8年春までに収穫予定の分を含む）

をそれぞれご記入ください。

※その年に作付がないものは0とご記入ください。

Q8のWeb画面は、Q7で選択した作物のみ表示されます。

作物	Q7 回答欄	Q8 回答欄	
	該当する作物	令和6年産 (実績)	令和7年産 (予定を含む)
① 飼料用米	☐	ha	ha
② WCS用稲	☐	ha	ha
③ 飼料作物（牧草）	☐	ha	ha
④ 飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	ha	ha
⑤ 飼料作物（その他【※子実とうもろこし、ソルゴー等具体的に記載】）	☐ 【	ha	ha
⑥ 食用水稻（主食用米、加工用米、米粉用米等）	☐	ha	ha
⑦ 水稻以外の食用作物（麦・大豆、野菜、果物等）	☐	ha	ha
⑧ 作付していない	☐		

Q7で、
⑥⑦⑧のい
ずれかのみの
回答の場合、
Q8回答
後にアン
ケート終了。

Q9 飼料用米、WCS用稲、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、その他）のいずれかを作付している方にお伺いします。
Q7で作付していると回答いただいた作物別に、収穫作業を外部委託している割合について、最も近いものをそれぞれご回答ください。
※令和6年と令和7年で割合が異なる場合、令和7年について回答ください。

Web画面では、Q7で選択した作物のみ表示されます。

作物	該当する作物	収穫作業を外部委託している割合					
		委託していない	2割未満	2割以上～5割未満	5割以上～8割未満	8割以上	全て委託している
① 飼料用米	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
② WCS用稲	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③ 飼料作物（牧草）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④ 飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 飼料作物（その他）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q10 WCS用稲を作付している方にお伺いします。
令和7年産において作付した品種をご記入ください。
※令和6年しか作付をしていない方は、令和6年産において作付した品種をご記入ください。
※複数品種を作付している場合、作付面積の多い順にご記載ください。

Web画面では、Q7で「WCS用稲」を選択した者のみQ10が表示されます。

Q11 飼料用米、WCS用稲、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、その他）のいずれかを作付している方にお伺いします。
各作物を外部に販売している場合の販売先を作物別にそれぞれご回答ください（いくつでも）。
生産した作物を自分が飼養する家畜に給与している（販売していない）場合は、「自分の農場で利用」をご回答ください。
※年によって異なる場合、令和6年の実績を回答ください。

Web画面では、Q7で選択した作物のみ表示されます。

作物	外部に販売している場合の販売先				
	販売			自分の農場で利用	その他 【具体的に記載】
	畜産農家（直接）に販売	農協（全農含む）に販売	TMRセンター、飼料会社に販売		
① 飼料用米	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】
② WCS用稲	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】
③ 飼料作物（牧草）	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】
④ 飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】
⑤ 飼料作物（その他）	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】

Q12 飼料用米、WCS用稲、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、その他）のいずれかを販売している方にお伺いします。
各種助成と併せた採算性について、最もあてはまるものを作物別にそれぞれご回答してください（ひとつずつ）。

Web画面では、前問で「販売」に該当する選択肢いずれか一つでも選択した場合に、Q7で選択した作物についてQ12が表示されます。

作物	各種助成と併せた採算性について				
	大幅に採算が取れており、十分な余力がある	ある程度採算が取れており、投資余力が生じる	ギリギリだが、採算は取れている	ややコスト割れしている	大きくコスト割れしている
① 飼料用米	☐	☐	☐	☐	☐
② WCS用稲	☐	☐	☐	☐	☐
③ 飼料作物（牧草）	☐	☐	☐	☐	☐
④ 飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 飼料作物（その他）	☐	☐	☐	☐	☐

Q13 飼料用米、WCS用稲、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、その他）いずれかを作付している方にお伺いします。
各作物を作付することの意義やメリット等について、作物別にそれぞれご回答ください（いくつでも）。

Web画面では、Q7で選択した作物のみ表示されます。

作物	作付することの意義やメリット									
	他の作物と作業時期をずらせるため、忙しい時期を分散できる	他の作物より手間をかけずに生産ができる	既存の機械を活かして生産ができる	連作障害を回避できる	畜産農家やコントラクター等に作業委託でき、人手や機械に追加投資せずに生産できる	確実な需要があるため安心して生産できる	収入が安定する	地域の農地を維持できる	その他 【具体的に記載】	特でない/分からない
① 飼料用米	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】	☐
② WCS用稲	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】	☐
③ 飼料作物（牧草）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】	☐
④ 飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】	☐
⑤ 飼料作物（その他）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【 】	☐

Web画面では、Q7で選択した作物のみ表示されます。

Q18 前問の今後の意向で選択した理由について、あてはまるものを作物別にそれぞれご回答ください(いくつでも)。

作物		水田の条件（ほ場の分散の程度）				
		収益面（例：現状でも十分な収益が得られており変える必要がないから、現状の収支が悪く他にもっと収益性の高い作物に転換したいから等）	労力面（例：労力の確保が厳しくより省力的な作物を選ぶ必要があるから、作業ピークの異なる作物に取り組むことで今の労働力を活かしたいから等）	需要面（例：より大きな需要が見込めるから、今後の需要が見込めないから等）	関係性（例：これまで築いてきた供給先との関係性があり継続的な供給を期待されているから等）	その他 【具体的に記載】
①	飼料用米	☐	☐	☐	☐	☐ 【
②	WCS用稲	☐	☐	☐	☐	☐ 【
③	飼料作物（牧草）	☐	☐	☐	☐	☐ 【
④	飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	☐	☐	☐	☐ 【
⑤	飼料作物（その他）	☐	☐	☐	☐	☐ 【

Web画面では、Q7で選択した作物のみ表示されます。

Q19 飼料用米、WCS用稲、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、その他）のいずれかを作付している方にお伺いします。
各作物の生産において課題と感じていることがありましたら、作物別にそれぞれ回答ください（いくつでも）。

作物		各作物の生産の今後の意向（おおよそ5年を目途）									
		収益性の改善 （販売単価の増額や生産コストの削減等）	供給先の確保 （畜産農家とのマッチング等）	分散する農地の集約	農地整備 （大区画化、排水対策等）	鳥獣害対策	機械や施設 （保管場所含む）の確保	労力 （委託先を含む）の確保	技術の向上	その他 【具体的に記載】	課題は感じていない
①	飼料用米	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【	☐
②	WCS用稲	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【	☐
③	飼料作物（牧草）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【	☐
④	飼料作物（青刈りとうもろこし）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【	☐
⑤	飼料作物（その他）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 【	☐

Q20 飼料用米、WCS用稲のいずれかを作付している方にお伺いします。

飼料用米やWCS用稲を作付しているほ場を畑地として利用する（＝畑作物を生産して収益を得る）可能性について、最もあてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。

ほとんど又は全てのほ場でありえる	☐
一部のほ場ではありえる	☐
ありえない	☐
分からない	☐

Q21 前問で「ありえない」と回答した方にお伺いします。

畑地として利用する可能性がありえない理由について、あてはまるものをご回答ください(いくつでも)。

排水性が悪く、耐湿性の低い畑作物では十分な収量が見込めないから (排水対策をしても畑作物で十分な収益が見込めない、排水対策をしても見合った収益が見込めない等も含む)	☐
鳥獣害が発生しているから（現在作付している作物以外だと、鳥獣害がより深刻になると見込まれるから等）	☐
畑作物の需要を確保できる目途が立っていないから	☐
畑作物の栽培経験がないから	☐
畑作物の栽培には機械導入や外部への委託が必要となるが、投資や手間に見合うだけの収入を得られる見込みがないから	☐
水田は水田として利用すべきと考えるから	☐
その他 【具体的に記載： 】	☐

Q22 飼料用米、WCS用稲、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、その他）のいずれかを作付している方にお伺いします。

飼料用の作物を生産するために導入し、現在も使用されている機械・施設についてあてはまるものをご回答ください（いくつでも）。

飼料播種機	☐
刈取機（ディスクモア、モアコンディショナー等）	☐
反転機、集草機	☐
ロールベアラー、ラッピングマシン	☐
細断型ホールクローブ収穫機	☐
飼料積込機、飼料運搬機	☐
フォレージハーベスター、コーンハーベスター	☐
飼料積込・運搬機	☐
堆肥運搬機、堆肥散布機	☐
その他【具体的に記載： 】	☐
飼料用の作物を生産するために新たに導入し、現在も使用している機械・施設はない	☐

Web画面では、Q7で「飼料用稲、WCS用稲」のいずれかを選択した場合Q22が表示されます。